

乱視矯正の軸 トリプル手術の軸足

～前眼部・後眼部から明るい未来を目指して～

日時

2025年 **6月21日(土)**
12:30～13:30

場所

第6会場
福岡国際会議場 4F 413+414
〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町2-1

本会ランチョンセミナーは整理券制となります。

■配布日時 6月21日(土) 7:30～11:30(※無くなり次第、終了)
■配布場所：福岡国際会議場 1F エントランスホール

- 1) 整理券の発行にはネームカードが必要です。
おひとり様一枚限り、開催当日分のみの発行となります。
- 2) 整理券の配布は先着順のため、なくなり次第終了させていただきます。
- 3) 配布時間終了後、整理券が残っている場合は、各セミナー会場前で配布します。
- 4) 整理券はセミナー開始と同時に無効となります。
- 5) 各セミナー会場には、整理券をお持ちの方から、優先的にご入場いただきます。
- 6) 整理券をお持ちでない場合でも、各セミナーの参加状況により、ご入場いただける場合があります。

座 長

山王病院アイセンター センター長
国際医療福祉大学 教授

清水 公也 先生



順天堂大学附属静岡病院 眼科 特任教授

太田 俊彦 先生



白内障手術は患者側からは安全で術後視機能が良好になる手術とされています。しかし、本手術が年間約150万件も実施されていることを考えると、患者の数だけ術後視機能に対する要望・期待があり、術者はそれらを考慮し最適な術式の選択が求められます。本セミナーでは「IOLから明るい未来を目指して」をテーマに、様々な背景のうち前眼部の乱視と後眼部の硝子体に着目し、乱視については鈴木先生より、どのような視点が乱視矯正手術には必要なのか、まさに乱視「軸」を中心に講演いただきます。硝子体については坂西先生より、日進月歩の白内障・硝子体同時手術に求められる新たな視点を整理いただき、そのひとつIOL選択のポイント、つまり支えとなる「軸足」についても講演いただきます。本日の学びが明日から診療の参考となれば幸いです。

演 者

● トーリック眼内レンズの
適応と使用方法のABC

善行すずき眼科 院長

鈴木 久晴 先生



● 硝子体術者が考える
眼内レンズ選択

坂西眼科医院 院長

順天堂大学医学部附属浦安病院 眼科 講師

坂西 良仁 先生

